

稲・大豆作情報 (NO. 2)

1. 水稲作況情報田の生育概況(7月8日現在)

品 種 場 所	移植日 栽植株数	年 次	現在の生育状況			概況
			草 丈 cm	茎 数 本/㎡	主稈 出葉数	
夢しずく 佐賀市本庄町	6/17 18.0株/㎡	本 年 平 年 平年比	34.4 36.0 (96)	191 190 (100)	7.8 7.3 (+0.5)	好天のあと曇雨天が続き、全品種、草丈は平年並み。茎数、葉齢は「さがびより」「ヒヨクモチ」で平年よりやや多く推移している。 麦ワラ腐熟に伴うガス湧きによる生育抑制、スクミリンゴガイ食害を確認。
さがびより 小城市芦刈町	6/21 18.5株/㎡	本 年 平 年 平年比	33.8 33.4 (101)	194 165 (118)	7.2 7.3 (-0.1)	
ヒヨクモチ 小城市牛津町	6/29 19.3株/㎡	本 年 平 年 平年比	23.7 23.5 (100)	85 80 (107)	6.1 5.7 (+0.4)	

注1) 各品種 前作：麦

注2) 施肥及び病害虫防除は地区基準に準ずる。

〈参考〉佐賀県農業試験研究センター 米づくり情報(抜粋) (7月9日調査)

品 種 場 所	移植日 栽植株数	年 次	現在の生育状況			概況
			草 丈 cm	茎 数 本/㎡	主稈 出葉数	
夢しずく	6/18 19.6株/㎡	本 年 平 年 平年比	34.6 35.2 (98)	239 175 (137)	7.6 7.1 (+0.5)	【草丈】 「夢しずく」、「さがびより」、「ヒヨクモチ」はやや低い。「ヒノヒカリ」はやや高い。 【茎数】 全ての品種で多い。 【葉齢】 「夢しずく」、「ヒノヒカリ」、「ヒヨクモチ」は進んでいる。「さがびより」はやや進んでいる。
ヒノヒカリ	6/18 22.2株/㎡	本 年 平 年 平年比	30.6 29.0 (106)	285 238 (120)	8.2 7.3 (+0.9)	
さがびより	6/21 16.7株/㎡	本 年 平 年 平年比	29.5 30.2 (98)	192 175 (110)	7.3 7.1 (+0.2)	
ヒヨクモチ	6/21 22.2株/㎡	本 年 平 年 平年比	26.5 27.3 (97)	306 247 (124)	7.9 7.4 (+0.5)	

2. 水稲管理

溜め水期間の長期化で土壌の酸素不足、麦ワラ腐熟によるガス湧き、スクミリンゴガイ食害により、分けつが遅れている圃場が散見される。適正管理により、できる限り生育回復に努める。

○水管理 ～ 時期に応じ 浅水・落水・間断 適正な水管理を ～

- ・引き続き、除草剤施用後湛水期間を過ぎた圃場は、溜め水とせず速やかに間断かん水に移行し、土壌に酸素を供給し、稲体の健全化を図る。
- ・ガス湧きが続いている圃場も落水→浅水を継続し、適正なガス抜きを行うとともにガスの有無を定期的

に確認し、土壌の健全化も図る。

- またスクミリンゴガイの食害被害も水位管理不良田、圃場凹部で多く確認されている。降雨が続いているが、浅水または落水管理とし、貝の活動抑制を行うと共に薬剤防除を実施する。
- 余り苗はいもち病やウンカの温床になるため、補植作業が終わったら、直ちに除去する。

○除草剤 ～初期剤散布の遅れた圃場は特に雑草の生育に注意～

- 雑草の生育（葉齢）に注意し、中後期除草剤による早めの対策を講じる。

○中間追肥 ～ヒノヒカリ、ヒヨクモチ～

- 元肥を即効性の肥料（BB480等）を使用した場合は次の通り。
「ヒノヒカリ」：7/5～10 頃、窒素成分で2.0 kg/10a（BB480：15kg/10a）程度
「ヒヨクモチ」：7/15 頃、窒素成分で1.6～2.1 kg/10a（BB480：12～15kg/10a）程度

3. 大豆管理 ～圃場条件が整い次第播種を～

今後も雨天が続く見込みで、梅雨明けはまだ予測できていません。今後の気象状況に留意しながら、圃場条件が整い次第、速やかに播種作業に移れるように準備を行いましょう。

○圃場準備 ～ 耕起は水分の低い時に、大雨・長雨予報の時は無理しない！～

- 荒起は圃場が乾くのを待ち、播種前日～当日に行う。
- 天候が変わりやすい場合には、無理に荒起こしはせず、1工程で浅く耕起して播種する。

○播種

- **種子消毒**：紫斑病や腐敗防止および発芽率の向上のため、必ず実施する。
- **播種量**

播種日	栽植本数 ㎡あたり	栽植様式 条間×株間×1株本数	播種量 (kg/10a)
7月6日～15日	13本	75×20×2	4.0

- **播種深度**

土壌水分が高い場合や播種後2～3日以内に降雨が予想される時→2cm程度の浅め 鎮圧しない
播種後に晴天が続く場合は、4～5cm前後の深めにして鎮圧をおこなう。

- **除草剤**

播種前)「ラウンドアップ」「プリグロックス」など茎葉処理剤の散布において、風の強い日の散布は周辺水稲へ影響が大きい（場合によっては枯死まで至る）、**厳禁！**必ず避ける。

播種直後) 土壌処理剤を散布し、雑草防除を行う。特に近年問題となっているホオズキの発生が多い圃場では、「ラクサー乳剤」が効果的である。播種直後の散布でも、隣接圃場の水稲へドリフト防止のため風速と風向き等に注意し、風が強い日には散布しない。

※アサガオについては、多発すると大豆の作付け自体が困難になるため、見つけ次第手で抜き取る。

令和3年産水稻生育期間気象グラフ (アメダス: 佐賀)

佐城農業改良普及センター

